

令和6(2024)年度 下條小学校 グランドデザイン

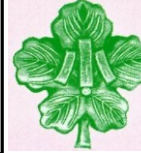
VOUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)時代

自然と伝統 人が織り成す 下條村
～伝統と共にいつまでも健やかでいられるむらづくり～
郷土に愛着と誇りを持ち、時代の変化に対応できる基礎力を育む

願う学校像

- 希望や勇気にあふれ「ひとりだち」をめざして進む学校 【自律】
- 明るい声が響き合い、笑顔あふれる下條小学校 【笑顔】

学校教育目標
自ら学ぶ子 (しっかり学習)
心豊かな子 (もとう思いやり)
健やかな子
(めざそう じょうぶな子)



重点 **元気な学校・元気な子ども**

めざそう じょうぶな子 ... 心身の健康

児童のねがい 元気で仲の良い学校にしたい

心理的安全性を確保しつつ、困難や失敗に出会ってもくじけない心や力を育む ～知・徳を育むベースとしての体～

みんなで進める体力向上、生活習慣作り

- ① 登下校は歩くことの推奨 ② 体力向上プランに基づく授業づくり、学級づくり ③ 全校運動の充実
- ④ めあてと振り返りのある体育的行事、体育の授業 ⑤ 体を動かして遊ぶ時間と場所の確保 ⑥ 児童会との連携
- ⑦ 基本的な生活習慣の確立 ⑧ 食育の推進 ⑨ 健康教育 重点…体力向上、歯と視力、治療率向上

相談しやすい学校づくり ～いじめ・不登校の未然防止と早期対応～

- ① 心と体の相談室の周知と活用 ② 相談窓口の複数化 ③ 相談週間 ④ しもじょっ子の家との連携

安心安全の学校づくり

- ① 通学路の安全点検 ② 危機管理体制 ③ けが防止～危険予知能力を育む～

○学校自己評価
「外に出て遊び、体を鍛えている」
80%→85%

働き方改革の推進
～質の高い授業を実現するために～
C4th導入による業務の見直し

しっかり学習

もとう思いやり

子どもの問いから始まり、子どもたちの対話で追究が繋がり、深い学びになっていく授業

協働的に追究する(学び合う)喜びや成就感を感じる指導

- ① 3観点(ねらい・めりはり・見とどけ)を意識した授業の質的向上
- ② 話し合い活動の充実(ペア・グループ)
- ③ 表現力(伝え合う力)を高める指導 違いを受け入れる大切さ 失敗が許される雰囲気
- ④ 教科横断的な指導 ⑤ 学び合いを支える環境整備

基礎学力定着のための重点的な取組

- ① 読解力の向上 ② ドリルタイムの充実 ③ 適時の個別指導
- ④ 家庭学習の充実 ～自分に必要な学習を自分で計画を立てて進め見返す力～
- ⑤ ICT教育の充実 タブレットの日常化(学校・家庭)

多様性に対応できる学習指導の工夫 ～特別支援教育の充実～

- ① 合理的配慮 ② 通級指導教室サテライト校
- ③ 特別支援コーディネーターを中核とした支援体制のマネジメント

PDCAサイクルによる学力向上の検証

教職員の指導力向上に向けた研修

- ① 重点研究 重点教科「保健体育」
- ② 保・小・中連携における研修

○学校自己評価
「授業がわかる」 93%→93%
「自分の考えを、わかりやすく伝えることができる」 83%→85%

地域・家庭と
ともに歩む学校

居心地の良い学級づくり ～失敗が許され、違いが認められる学級～

- ① 役に立つ経験・認め合い ② 話し合い活動の充実 ③ 集団作りゲーム
- ④ 友の良さに気づき友の姿から学ぼうとする意欲

異年齢活動の充実 ～多様な他者と関わりながら自分のあり方を考える～

- ① 縦割り活動の位置づけ ② 連学年での合同授業 ③ 姉妹学級での交流活動

異世代活動の充実 ～地域の方の思いに学ぶふさと学習～

キャリア教育の充実

- ① はたらく体験の充実 しもじょっ子家庭の日(お手伝い) ② 全校ふさと塾

人権教育の充実

道徳教育の充実 重点目標…誰に対しても分け隔てしない公正公平

生活向上 ～児童会での自治活動～

- ① 場に応じた言葉遣い
- ② 元気なあいさつが響く学校
- ③ 情報モラルの徹底

○学校自己評価
「学校が楽しい」 91%→90%
「元気なあいさつ」 84%→85%

しもじょっ子カッセイカ会議(コミュニティスクール)の推進

～地域、保護者、学校が一体となって願う子どもの姿を共有し、児童を育成～

- ◎地域の人々の温かさに触れる活動 ◎子どもの育ちを語り合う場の設定